

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） 【学校推薦型選抜Ⅱ】

教育目標

法文学部は、情報化、国際化および地域の変化に伴う諸問題に適切に対処できる現実的な問題解決能力をもつ人材の育成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

- (1) 人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を備えている人
- (2) 地域社会と世界の人間・文化・社会に関心をもつ人
- (3) 現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得に意欲のある人
- (4) 大学で自分の将来および可能性を探究する意欲のある人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

入試で課されている、以下のような教科を中心とした幅広い基礎学力。

- (1) 国語の基礎学力
- (2) 外国語の中でも特に英語の基礎学力
- (3) 地歴・公民における社会科学の基礎知識
- (4) 数学の基礎学力
- (5) 理科における自然科学の基礎知識
- (6) その他学科の特色に応じて求められる能力

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型入試Ⅱでは、大学入学共通テスト、面接または小論文、調査書（人文学科のみ）の成績の総合得点に基づいて、人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力、地域社会と世界の人間・文化・社会への関心、現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得への意欲、大学で自分の将来および可能性を探究する意欲について、総合的に評価します。

【法経社会学科】

教育目標

法経社会学科は、社会科学に関する基礎的体系的な知識を修得し、幅広い視野の下で身につけた法学、社会学、経済学などの社会科学の素養を、地域の問題発見と課題解決に積極的に活用できる人材の育成を目標としています。

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

- (1) 社会科学の幅広い知識の修得を目指している人
- (2) 地域社会や国際社会における問題発見とその問題解決に関心のある人
- (3) 社会の抱える問題に強い関心をもち、主体的に学習する姿勢をもっている人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語・英語の学習による読解力および表現力
- (2) 社会科学を学ぶ上で必要な地理歴史・公民、理科の基礎知識
- (3) 数学の基礎学力とその学習による論理的思考能力

3. 入学者選抜の基本方針

大学入学共通テストを課すとともに、個別テスト等として、法学コースでは、「面接」、地域社会コースおよび経済コースでは、「小論文」を課します。法学コースでは、学習意欲、社会の諸問題に対する高い関心、基礎的な表現力を有している入学者を選抜します。地域社会コースおよび経済コースでは、広く社会の諸事象に対して関心をもち、読解能力や説明能力の優れた入学者を選抜します。

〈法学コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

- (1) 社会の仕組みや外国語を学ぶうえで必要な基礎学力に加え、地歴・公民分野における高等学校教科書レベルの知識を備える人
- (2) 法学および政治学の専門的知識の体系的な学習とともに、外国語および多様な学問分野を横断した幅広い知識の修得に意欲のある人
- (3) 問題発見・解決能力を踏まえて、実践的な法解釈力、政策立案能力を向上させ、国際知識を修得することに意欲がある人
- (4) 社会規範を尊重し、地域・社会貢献に意欲がある人
- (5) 法および政治に関わる社会的問題について強い興味と関心をもち、主体的に継続して学習できる人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語と外国語の学習による読解力と表現力
- (2) 地歴・公民や理科の学習による法学・政治学・政策学を学ぶ上で必要となる基礎知識
- (3) 数学の学習による論理的思考能力
- (4) 日常的に新聞や書籍を読むことによる高い社会的関心

3. 入学者選抜の基本方針

大学入学共通テストでの幅広い基礎学力を測ることと併せて、個別テスト等では面接試験を課し、学習意欲、社会の諸問題に対する高い関心、基礎的な表現力を測ることに加えて、出身高等学校の調査書、高等学校長の推薦書および自己推薦書を総合的に判定します。

〈地域社会コース・経済コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

地域社会コース・経済コースは、国際化の進展に伴い複雑化・多様化する経済社会のなかで地域社会からの要請に応えることができる人材の養成を教育目標にしています。具体的には、情報を創造的に活用し、地域的・国際的な視野から問題を発見し解決することのできる人材を求めています。

- (1) 高等学校までの基礎的な学習内容をしっかりと修得している人
- (2) 地域のおよび国際的な社会・経済問題に対して常に関心をもち、解決しようという意欲のある人
- (3) 新しい課題に積極的に取り組み、自らを成長させようという意欲のある人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語・英語の読解力・表現力
- (2) 地理歴史・公民，理科の基礎知識
- (3) 数学の基礎学力

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストのほかに小論文を課すことによって、広く社会の諸事象に対して関心をもち、読解能力や説明能力の優れた入学者を選抜します。

【人文学科】

教育目標

地域および世界の多元的な文化、歴史、環境への深い造詣に基づき、広い視野に立って、地域社会と国際社会の課題を実践的に解決できる人材、人間の心と行動への深い造詣に基づき、心理的支援によって地域に貢献できる人材、心理学の知見を活用し産業・行政分野で貢献できる人材の養成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

- (1) 日本を含む世界各地の文化・歴史・環境や人間の心と行動について学ぶ強い意欲を持つ人

- (2) 柔軟な発想力と、適切な論理の展開能力、表現力を備えている人
- (3) 学習する上で必要となる言語能力や論理的思考力、批判的分析力を備えている人
- (4) 社会や歴史、思想、文化、環境、科学に関する基礎知識を幅広く習得している人
- (5) 事象を論理的に考察し数理的に処理する能力を備えている人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語と外国語の学習による言語能力や論理的思考力、批判的分析力
- (2) 地理歴史や公民、理科の学習による社会や歴史、思想、文化、環境に関する幅広い基礎知識
- (3) 数学の学習による数理的処理の基礎

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱにおいては、地域および世界の諸文化や心理学に強い関心を持ち、柔軟な発想力と、適切な論理の展開能力、表現力を備えているかという点を重視し、大学入学共通テスト、面接、小論文、出身高等学校の調査書の成績を総合して選抜します。

〈多元地域文化コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

- (1) 日本を含む世界各地の文化・歴史・環境について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 柔軟な発想力と、適切な論理の展開能力、表現力を備えている人
- (3) 学習する上で必要となる言語能力や論理的思考力、批判的分析力を備えている人
- (4) 社会や歴史、思想、文化、環境に関する基礎知識を幅広く習得している人
- (5) 数理的処理の基礎を学んでいる人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語と外国語の学習による言語能力や論理的思考力、批判的分析力
- (2) 地理歴史や公民、理科の学習による社会や歴史、思想、文化、環境に関する幅広い基礎知識
- (3) 数学の学習による数理的処理の基礎

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱにおいては、地域および世界の諸文化に強い関心を持ち、柔軟な発想力と、適切な論理の展開能力、表現力を備えているかという点を重視し、大学入学共通テスト、小論文、出身高等学校の調査書の成績を総合して選抜します。

〈心理学コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

- (1) 人間の心と行動について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 互いを尊重し思いやる心と高いコミュニケーション能力を備えている人
- (3) 学習する上で必要となる言語能力や思考力、および基礎的学力を備えている人
- (4) 事象を論理的に考察し数理的に処理する能力を備えている人
- (5) 社会や歴史、思想、文化、環境、科学に関する基礎知識を幅広く習得している人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語と外国語の学習による言語能力や論理的思考力、批判的分析力
- (2) 数学の学習による数理的処理の基礎
- (3) 地理歴史や公民、理科の学習による社会や歴史、思想、文化、環境に関する幅広い基礎知識
- (4) 「総合学習」や「問題解決型学習」による問題解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱにおいては、心理学に強い関心を持ち、柔軟な発想力と論理的思考力、高いコミュニケーション能力を備えているかという点を重視し、大学入学共通テスト、面接、出身高等学校の調査書の成績を総合して選抜します。